

ウッディチキン／長野例会

「定例会レポート NO. 98」

日 程	2014年9月10日（水）
会 場	松本理容会館 〒390-0811 長野県松本市中央1丁目21-3 TEL 0263-33-6650 H/P http://www.nagano-riyo.jp/
参加者数	約60名
講演会内容	PM7:00～9:00 ・久保華図八先生挨拶 ・ウッディチキン活動報告 北田礼次氏 ・長野支部長挨拶 ・ 壬生義文様講演 「夢への挑戦」～子供達と挑む日本～
親睦会	PM9:30～



ウッディチキン事務局
伊藤ちひろ



《開会挨拶》

<司会進行>

鳴海 沙由里さん



武村 雄一さん

〈 久保華園八先生 挨拶 〉



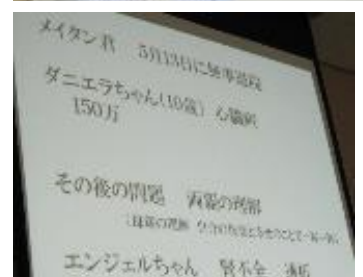
想念についてサマカレで伊藤さんが言っていたことですね。
よい言葉を使うと勇気が湧いてくる。なぜか上手くいく。想念を強く持つと無自覚のうちにそうなっていきます。
成功する人は自分で出来ると思っています。そう思っている人しか成功出来ません。自分を主人公に出来ていますか？
知らないうち自分を見限っている人がいる。自分に自信を持つことが大切です。
自信を持つことは少し難しいことです。自信を裏付けるだけの努力が必要です。
野球でも練習の時は「俺はヘタだ」と努力を惜しまないで、本番は「俺しか打てない」と自信を持つことです。陰で一生懸命動いた分しか力はないのです。

- プラスの言葉しか使わないことにする。言葉に気をつけること。
 - 自信のある人と交わること。自分のことを奮い立たせる人と一緒にいること。一緒にいる人は大事です。
 - 努力すること。才能は知らない
- メンタルブロック（固定観念）が効いている人が多くいます。出来ないと思い込んでいる人が多いです。出来ると知れば周りも出来ます。
なかなか取れないけれど突き抜けること、努力を惜しまないことが大事です。

〈北田礼次氏よりウッディ活動報告〉

去年の10月からフィリピンの手助けをしようと横田はじめさんに来ていただき、支援が始まりました。
4/29～5/2でフィリピンへ視察に行ってきました。
子供たちの働き口を見つけようという“ハサミのチカラ”という活動がすでにあります。ボランティアカットをしています。
富田さんの診療所へも寄り、メイタン君(生後6ヶ月)に会いに行き、水頭症の手術代を支援し、手術が成功しました。
また、心臓病のダニエラちゃんも支援し、手術できることになりました。
フィリピンの問題として、母親や両親の理解ということがあります。
エンジェルちゃんという腎不全の子もいます。

今後の予定として、11月12日～15日（三泊四日）でフィリピンにボランティアに行きます。
人に与えることが先だといいますが、フィリピン募金に協力頂けたらありがたいと思います。
よろしくお願いします。



〈長野支部長 江原俊男氏挨拶〉



本字の昼間には、かんでんぱぱ（伊那食品工業）さんに行ってきました。幹部の思いが大切だと教わりました。

今日話していただく先生を紹介します。壬生先生です。先生は熱血のバレー部監督です。では先生、よろしくお願いいたします。



【講師 壬生義文先生】

テーマ「夢への挑戦」～子供達と共に挑む日本一～

〈プロフィール〉

1955年生まれ。昭和56年～平成16年の24年間、岡谷工業高校に在職。春の高校バレー・インターハイ・国体の主要3大会において全国優勝8回、準優勝6回、第3位11回の成績を残す。平成17年4月～創造学園高校へ教頭として奉職。赴任と同時にバレーボール部を創部し監督就任。創部2年で県大会準優勝、3年目に優勝。平成23年秋田インターハイにて出場2回目にして全国優勝を達成。平成24年春高バレーで感動の決勝戦の末、準優勝を獲得。



はじめに

校長になる話が出た時に、監督させてくれるならいいということになりました。

毎日の生活は7時に丘にある寮からバスで学校へ送って、30分～40分かけ、7時半から学校で校長業務を16時までし、その後20時まで監督、終わるとまたバスを運転し、夕ご飯の手伝いをしています。

運転手、校長、監督、主婦の役割があります。

大変だとか疲れたとか思うことはあるけれど、やめたいと思ったことはありません。

自分で決めてきたことなので後悔はしたくないと思っています。

22歳で卒業してすぐ教師を受かり、24年間岡谷工業高校で努めました。

涙の駅弁事件



努力をすることは大切だ。今まで悔しい思いをたくさんした。

「涙の駅弁事件」というものがある。当時岡谷はバレーボールが弱い高校だった。強い高校は相手にしてくれなかったが、ある時練習試合を約束することが出来た。

遠い高校だったためみんなで電車に乗って行ってみると体育館に生徒はおらず、他の強い高校へ練習試合に行っているとのことだった。

こんな惨めなことはないと思った。生徒たちも落ち込み、駅弁を買って帰ろうということになった。

駅弁を食べながら「弱ければこんな思いをしなければならいんですね」と生徒は泣いた。

一生懸命頑張っていることに強いも弱いもない。

だから今強い高校になっても、どんなに弱い高校とでも練習試合を行う。手を抜かず、真剣に行う。強くなる過程が大事。自分で勝ち得た自信が大事。

寮を探す

強くしていく過程で自分の学校の生徒だけでなく他の県からも上手い生徒を集めなければならないと思った。色々な中学校に出向き、高校へのスカウトをした。遠い高校へ行かせるのは親が心配する。寮があり、先生が見てくれば親も安心するということがあった。思いついてすぐに行動した。タイミングはその時しかやっこないものだと思った。生徒は来年の春には学校へやって来ることになり、寮を探すことになった。人を頼ってもダメだから自分ですることにした。来年生徒は来るのになかなか寮は見つけることができなかった。ある時ものすごく古い空家が見つかった。改築もしなければならぬところで、購入などに600万は必要だった。銀行へ回ったが、28歳の普通の教師だった私に貸してくれるところは見つからなかった。何度も銀行へ行っているうちに「情熱に負けた。」と貸してくれるところが見つかり、寮に生徒を招くことが出来た。



チームワーク

チームワークはお互いの性格が分かって初めてできていくもの。人の為になにかしてやろうという気持ちや自分のことを支えるために何人もいる、と知ることは大事。寮を作り、自分の家族と住むことで生徒たちは学んで行く。人のために何かしようと思えるときに強くなれる。家内工業で妻が寮に住む生徒のご飯をしてくれた。学校で教えられない部分を家で教えることが出来る。人がしてくれるのを待っているのはダメ。自分が頑張っていると人が応援してくれる。最初は自分が頑張らないとダメ。

金メダルへ

メダルがどうしても金にならない時があった。銀までは行けても金にはならない。どうしても勝てない時、公立でバスケがものすごく上手い学校へ行った。練習の風景を見せてもらうことが出来た。しかし顧問の先生はなにも言ってくれなかった。だけど帰り際に一言「考えさせなさい」と言われた。意味が分からず、5時間ほどある帰りの車の中でずっと考え続けた。ひとつの事を考え続けると閃く。いままでは機関車のように引っ張って来たけれど、自分たちで乗り越えなければならないのだと思った。子どもたちが自分たちで考えなければならない。そういう意味ではないかと思った。生徒たちが自分で考えたことは遠回りだけれど、教えられたことでは意味がない。土壇場に出せる力は人に与えられた力ではなく、自分で得た力でないといけない。子どもたちが答えを出そうとし、戦い方を覚えていった。



病気を経て

病気になった時があった。その時は今までも様々な困難はあったけれどさすがにダメかもしれないと思った。
しかし、生徒たちが自分を待っていると言った。
生きる目的がある人間は不思議な力が湧いてくるものだ。
3ヶ月で退院することになった。
またバレーが出来る。
神様は何かまだ出来ることがあるから助けてくれたんだと思う。
生きている価値があるからだと思う。



人生で大切なこと



①明確な目標と目的を持つこと

苦勞しても手に入れたいものが目標。
目標は叶うとは限らない。
その過程で人に優しくしたり、人間的に成長することが目的。
過程で目的は達成出来るもの。
生きる力を身につけるのは目標を持ってチャレンジすること。

②組織作り

個を最大限に高め、それでも足りないところを補い合う。
形は違っていい。
石垣のように長所を組み合わせていく。
いいところを伸ばす。
指導者がいて子供がいるのではなく、子供達がいて指導者がいる。

③考動力とコミュニケーション

考動力とは、自分が考え動く力。
コミュニケーションで相手を思いやる心を身につけていく。

④感性の重要性

感性を持つこと
同じ現状を見ても感性があるのとないのでは違う。
実体験で磨くこと。
それをしてあげる指導者が大事。

この4つが人生で成功する大事なポイントになる。
自分もまだ夢があって挑戦して頑張っている。
人間はダメだと思うとそこで終わり。
諦めなければずっと可能性がある。
創造学園の応援団になってください。



〈質疑応答〉

Q. 考える力を身に付けさせるにはどうしたらいいか？

A. 習慣だと思う。どうしたらいいかと考える。
行動を起こした時には間違っているとしても否定はしない、行動したことを認めてあげること。
あなたが変わることが子どもが変わること。

Q. 自分で考えさせている時“待つ”ということが辛い時どうしたらいいか？

A. 耐えるしかない。しかし子どもが考えに行き着く道を作ることは出来る。
子どもが自分の力でしたと思えるように自信を持たせるようにすること。



《閉会挨拶》

本日は遠い中来ていただき、ありがとうございました。

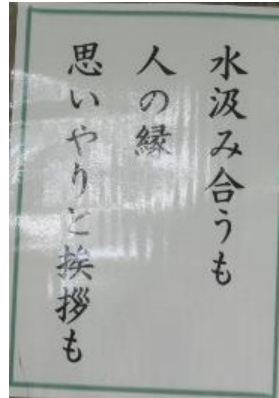
参加者の皆様、本当にありがとうございました。



親睦会の様子です。



オプションツアーの様子です。



ではまた次回、
東京例会（10月8日）でお会いしましょう。